

## 発掘ニュース

4月1日更新

### 八重垣神社遺跡（第6次）

#### 十宮町

現在は、運動場の外周に当たる範囲の擁壁埋設範囲の調査を調査しています。弥生時代から中世にわたる各時期の溝（流路）多数のほか、掘立柱建物や竪穴住居が検出されています。



竪穴住居



弥生土器が出土する溝

### 岸岡山川遺跡（第2次）

#### 岸岡町字雲雀山

3月26日をもって調査は無事終了しました。3月22日に開催した現地説明会にはこれまでの記録を書き換える約240名の方が参加していただき、市民の方々のこの遺跡に対する関心の高さに驚きました。現地説明会資料はこちら(PDFファイル793KB)からどうぞ。



現地説明会の様子



調査区の全景

### 寺山遺跡

#### 鈴鹿市高岡町字塚原

博物館では開発計画に際し保存方法を検討するために、遺跡の範囲や規模を確認するための調査も行っています。高岡配水池の東側約7,000㎡を対象にたくさんの試掘溝（トレンチ）を開けて、遺構の残り具合や深さを確認しています。この場所では字塚原という地名が残るように、古墳の痕跡とみられる溝がいくつも見つかりました。



方墳の西辺溝



方墳の隅部



[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

## 発掘ニュース

2月27日更新

### 八重垣神社遺跡（第6次）

#### 十宮町

神戸中学校移転に伴う発掘調査です。校舎の南半分と運動場の擁壁にかかる部分の約6,000㎡を調査します。調査は2月25日から擁壁部分の表土の掘削を開始しています。平成18年度に実施した試掘調査では、弥生時代前期から中世までのさまざまな遺構が確認されています。また、大きな流路（鈴鹿川が枝のように分れて流れていた際の跡）もあるため、西に隣接する河田宮ノ北遺跡のような水辺の祭の跡の発見や多量の木製品の出土も期待されます。調査は9月頃まで続く予定です。



調査地から八重垣神社を望む

### 岸岡山川遺跡（第2次）

#### 岸岡町字雲雀山

西側の調査区もかなり掘りあがってきました。後世の攪乱土坑と思って掘り下げていたら、どうも石室の石材をすっぽり抜き取られて壊された古墳の横穴式石室のようです。岸岡山丘陵とその周辺の平野には後期古墳が多く存在しますが、いずれも埋葬主体は木棺の直葬がほとんどです。また、石材も川原で採取された礫ではなく、板状に加工したものです。どこから運ばれたものなのか石材の鑑定の結果が待たれます。

2月8日～10日に周辺にお住まいの方々を対象に現地開放を行いました。あいにく後半は天候が悪く中止になりましたが、49名の方に参加いただきました。正式な現地説明会は3月22日(土)を予定しています。



現地解放の様子



横穴式石室の礫床が残っていました。

#### 沢城跡

#### 飯野寺家町

調査は予定通り1月31日をもって終了しました。2月2日(土)午前10時から現地説明会を開催したところ、土曜の午前中にもかかわらず50名の方に参加いただきました。地元の方が多く、身近にある文化財の重要性を再認識していただけたようです。現地説明会資料はこちら(PDFファイル0.75MB)からどうぞ。



準備も万端



土層の断面に視線が集まります

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

## 沢城跡

### 飯野寺家町

中央道路の南側に島状に残る中世の平城跡です。室町時代の正平22年(1367)年に神戸氏の居城として築城され、天文年中（1550年前後）に現在の神戸城に移るまで約200年間居城としていたと伝えられています。

今回の調査は倉庫の建設に伴うもので1月10日に着手し、1月31日に調査を終了する予定です。

部分的な調査でしたが、築城に際しては単に湿地のなかではなく地盤のしっかりしたところが選ばれていること、周囲に堤を築いてから中に2種類の土を交互に積み重ねて築いていること、新旧の整地面があることなど多くの発見がありました。遺構では掘立柱建物の柱穴、井戸、土師器皿がぎっしり詰まった土器溜まりなども見つかっています。

2月2日（土）午前10時から現地説明会を実施します。



築城の際の土の積み方がよくわかります。



下層の表面は粘土を貼って化粧されています。

## 岸岡山川遺跡（第2次）

### 岸岡町字雲雀山

現在までに、30棟以上の竪穴住居が確認されています。いずれも弥生時代後期のものです。調査区東半の遺構についてはほぼ掘りあがりましたので、2月8日～10日に周辺にお住まいの方々を対象に現地開放を行います。正式な現地説明会はあらためて、3月末～4月初め頃に実施する予定です。

1月15日には東側の緑地公園との境にある古墳状の高まり（岸岡山32号墳）を試掘しましたが開発範囲内では古墳に伴う遺構・遺物は見られませんでした。しかし、斜面に弥生時代の包含層が確認されましたので、狭い範囲ですが調査を行います。



竪穴住居の壁際から高環が出土しました。



古墳状の高まりを試掘しました。

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

## 発掘ニュース

12月27日更新

### 境谷遺跡（2次）

#### 国分町

すべての調査が11月30日をもって終了しました。現地説明会を12月16日に開催したところ、日曜日の午前中にもかかわらず約80人の参加者がありました。現地説明会資料はこちら(PDFファイル1.1MB)からどうぞ。



掘立柱倉庫を説明中



多数の見学者もこじんまり見える広い現場です



弥生土器の展示



石包丁や鉄製品

### 岸岡山川遺跡（第2次）

#### 岸岡町字雲雀山

遺構検出の結果、竪穴住居が30棟近く検出されています。遺構の掘削作業は西側から始まったばかりですが、埋土からは弥生時代後期（山中式の新しい段階）の土器が多く出土しています。



掘削中の竪穴住居



竪穴住居が重なりあっています。手前の住居も壁溝が二重になっていて建て替えが行われています。

### 竹野一丁目遺跡（第5次）

#### 竹野一丁目

個人住宅建築に伴う発掘調査です。12月1日から7日にかけて調査を行いました。検出された遺構は南北方向に流れる細い2条の溝と土坑（水田跡？）およびピットです。溝から山茶碗や土師器土鍋の破片が若干出土していて、鎌倉時代のものと見られます。



調査区全景



山茶碗の出土

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

## 伊勢国分寺跡（第33次）

### 国分町

11月16日をもって終了しました。結局、溝と若干のピット・土坑が見つかったにとどまりました。



調査区の壁に土坑の断面が顔を出しています。



調査区全景

## 八重垣神社遺跡（第5次）

### 十宮町

11月25日をもって終了しました。遺構が乏しかった1・2区（東側）に比べて、3区では大溝（流路）、掘立柱建物3棟以上、竪穴住居3棟、土坑等多数を検出しました。掘立柱建物のうち1棟は総柱建物（倉庫）で、柱が沈まないように底に板を敷いた（礎板）柱穴もありました。ほとんどの遺構は、古墳時代後期（6世紀代）のものです。



小さな竪穴住居



掘立柱建物



大溝（流路）



3区全景

## 境谷遺跡（2次）

### 国分町

遺構掘削は終了し、全体の写真撮影や補助的な測量が続けられています。現地説明会を12月16日午前10時から開催します。

また、西側にある中尾山遺跡との間の谷に遺構・遺物が埋もれていないかを確認するための試掘調査も行われています。



土師器を焼いた土坑？



東区もほぼ掘りあがりました

## 伊勢国府跡（長者屋敷遺跡）第22次

### 広瀬町

結局、これまでの調査で追いかけてきた北限溝も東辺溝も見つかりませんでした。北東隅の1ブロックは存在しなかったのか、それとも単に耕作等によって完全に削平され残っていないのか。課題は次年度以降に残されました。「金藪」は測量のため下草を刈ったので状況がよく観察できます。見ようによっては建物の基壇とも古墳とも見えるので、測量図の完成が待たれます。



下草が刈られてさっぱりした金藪



基壇とも古墳とも見える高まり

## 岸岡山川遺跡（第2次）

### 岸岡町字雲雀山

宅地造成に伴う発掘調査です。岸岡山丘陵の南向きの緩やかな斜面です。11月20日から表土除去と遺構検出を開始しました。



竪穴住居の輪郭が見えてきました



遺構検出作業

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

## 伊勢国分寺跡（第33次）

### 国分町

10月31日に着手しました。市道の整備拡幅に伴う発掘調査です。伊勢国分寺のすぐ南東に接する部分で、北側の畑の調査でもたくさんの遺構が見つかったところですが、表土を除去したところ溝数条と若干のピット・土坑が見つかったにとどまりました。



遺構検出作業中



瓦の詰まった溝とピット

## 八重垣神社遺跡（第5次）

### 十宮町

10月15日に着手しました。市道の拡幅に伴う発掘調査です。東側の1区はまったく遺構が検出されませんでした。2区は遺構検出中ですが、南東-北西方向に流れる古墳時代後期の溝が数条と土坑、古代末～中世にかけてと見られる柱穴が見つっています。



サブトレンチも入れましたが、全く水平な堆積が見られただけでした。（1区）



検出された溝，柱穴(2区)

## 境谷遺跡（2次）

### 国分町

いよいよ最後に残された調査区東半の遺構掘削が進んでいます。こちらは竪穴住居等遺構の密度は低くなっています。11月いっぱい現地調査は終了して、12月中旬に現地説明会を開催する予定です。



それでもたくさんの遺構です。



奥は掘削の終わった西区です。

## 伊勢国府跡（長者屋敷遺跡）

## 広瀬町

10月22日に着手しました。遺跡の北部にある方画地割の北東隅を検出することを目的とした学術調査です。しかし、これまでの調査で追いかけてきた北限溝も東辺溝も見つかりませんでした。なぜ？

あわせて、遺跡の北端にある「金藪」と呼ばれている高まりの測量調査も実施します。



調査風景，奥に金藪が見えます



風倒木痕しか見つかりませんでした

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

## 郡山野遺跡・西川遺跡

### 郡山町

ほぼ全域の遺構掘削が終了しました。あと、全域の航空写真撮影と測量を残すのみです。



古代から中世にかけての道路痕跡



調査区の北東隅で見つかった竪穴住居

## 境谷遺跡（2次）

### 国分町

調査区の西半分の遺構掘削が終了しました。東側も遺構検出が進んでいます。



円形の竪穴住居、火災にあって炭化した柱が残っています。



重複する竪穴住居

## 天王遺跡（14次）

### 岸岡町

個人住宅の建築に伴う発掘調査です。9月13日から28日にかけて調査を実施しました。弥生時代後期末頃の竪穴住居1棟と、古墳時代の溝1条が見つかりました。



調査区全景



竪穴住居

[TOPに戻る](#)

[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

8月31日更新

## 郡山野遺跡・西川遺跡

### 郡山町

1区と呼んでいる西川遺跡・郡山野遺跡南部の約4,000㎡の調査がほぼ終了しましたので、8月25日（土）午後1時半から現地説明会を行いました。猛暑の中にもかかわらず約60名の方に参加していただきました。現地説明会資料はこちら(PDFファイル1.3MB)からどうぞ。8月末からは、北側の残りの約2,000㎡の遺構掘削に移っています。



達磨窯を説明中。



地元テレビも取材に。

## 境谷遺跡（2次）

### 国分町

調査区の西半分について遺構検出が終わり、お盆明けからいよいよ遺構の掘削が始まっています。



竪穴住居



旧石器時代のナイフ形石器も出土しました。

## 塚腰遺跡

### 郡山町

8月30日をもって調査は終了しました。古墳時代前期の竪穴住居1棟のほか、古墳時代後期の土坑ほか柱穴・溝など多数が検出されています。また、サヌカイト製の角錐状石器も出土しています。



竪穴住居



調査区全景

## 八重垣神社遺跡（4次）

## 十宮町

8月25日で調査は終了しました。南北道路の調査区では、中央部で溝2条、土坑1基、柱穴3基が、南部で流路跡1条が見つかりました。東西道路の調査区では、溝（流路？）1条が見つっています。流路（溝）は主に古墳時代後期の土器片および木片を含んでいます。



溝と柱穴



流路（溝？）

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

8月8日更新

## 郡山野遺跡・西川遺跡

### 郡山町

これまでの調査では、古代の竪穴住居・掘立柱建物・土坑・溝が検出されています。検出された遺構は昨年度調査した西川遺跡（2次）に隣接する範囲に集中しています。調査は、郡山野遺跡の中心部分へと進んできていますが、既に削平されてしまったのか、遺構の密度は低いようです。また、郡山野遺跡では西川遺跡（2次）同様に近世後期の瓦を焼いた達磨（だるま）窯が2基検出されました。

8月25日（土）午後1時半から現地説明会（前期）を行います。



達磨窯1号



達磨窯2号

## 境谷遺跡（2次）

### 国分町

遺構検出作業が進められていて、既に30棟ちかくの竪穴住居が検出されています。1棟見つかった円形の大型住居は1次調査で見つかったものと同様に火災に遭っているようです。



重なり合う竪穴住居



円形住居は径9m以上あります。

## 竹野一丁目遺跡（4次）

### 竹野一丁目

調査は7月24日に終了しました。鎌倉時代の溝・井戸・土坑そして水田跡が見つかりました。



南北溝



掘削中の井戸

## 岡田神社遺跡（2次）

### 岡田一丁目

高齢者向け集合住宅建設に伴う発掘調査です。7月18日から調査を始めて、8月1日に調査を終了しました。ここも比較的単純な鎌倉時代の集落遺跡です。井戸・溝・土坑が見つっています。



遺構を掘り下げています



全景

## 八重垣神社遺跡（4次）

### 十宮町

ほ場整備事業後の道路建設に伴う発掘調査です。平成12～14年に、ほ場整備に先立って実施された宮ノ前遺跡・八重垣神社遺跡の調査では古墳時代～古代の集落跡が、たくさんの遺物を伴って見つっています。

7月25日から調査に着手しました。まだ、遺構検出作業の途中ですが、土層の見分けが難しく、難航しています。若干の溝・ピットが遺構として検出されています。その他自然の流路跡も見つっています。



遺構面まで重機で掘り下げ



溝の検出状況

## 塚腰遺跡

### 郡山町

個人住宅建築に先立つ発掘調査です。7月25日に調査が始まりました。まだ、遺構検出の段階ですが、堅穴住居が複雑に重なり合っているようです。



表土除去

[TOPに戻る](#)

[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

7月5日更新

## 郡山野遺跡・西川遺跡

### 郡山町

6月5日から調査に着手しました。南側から表土除去・遺構検出を進めています。昨年度調査した西川遺跡（第2次）に隣接した部分から、数多くの掘立柱建物・竪穴住居や土坑が検出され始めています。しかし、古墳と考えていた高まりについては、後世の盛土であることが確認されました。



古代の土坑



古墳と思ったら後世の盛土でした。

### 境谷遺跡

### 国分町

鈴鹿市リサイクルセンター第2期事業に伴う発掘調査です。昨年度調査した調査区の北側約7,500㎡を11月末頃までかけて調査します。6月27日から表土除去作業が始まりました。



表土除去作業

### 竹野一丁目遺跡

### 竹野一丁目

宅地造成に伴う小規模な発掘調査です。遺跡は鎌倉時代を中心としたシンプルな集落遺跡です。6月29日から調査に取り掛かりました。



溝状遺構



大きな落ち込みは中世の水田遺構？

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

6月5日更新

## 平田遺跡

### 弓削一丁目

個人住宅建築に伴う発掘調査です。4月30日から5月16日にかけて調査を実施しました。調査地は第9次調査で大形の掘立柱建物SB0935が見つかった地点のすぐ北側にあたります。

飛鳥～奈良時代の竪穴住居1棟のほか、奈良～平安時代とみられる掘立柱建物1棟と掘立柱の棟門？1棟が検出されました。



調査区東半，奥に竪穴住居



調査区西半，2棟の掘立柱建物

## 国分遺跡

### 国分町

5月11日をもって調査は終了しました。中世の掘立柱建物2棟ほか土坑・溝多数が確認されました。焼土面を有する土坑からは鉄製品の破片や砥石が出土していて、鍛冶が行なわれていたことがうかがえます。国分遺跡は推定尼寺が衰退・廃絶した中世以後も地域の中心的な集落として機能していたようです。

単弁十二葉蓮華文軒丸瓦・重圈文軒丸瓦・均整唐草文軒平瓦など尼寺に由来するとみられる遺物は出土していますが、関連する遺構は検出されませんでした。



調査区全景



珍しいIIB11型式の軒平瓦が出土しました。

## 郡山野遺跡

### 郡山町

宅地造成に先駆けて行う約6,000㎡の大規模な発掘調査です。調査区は、昨年度調査を行なった西川遺跡（2次）調査地の北西に隣接しています。本格的な作業は6月5日から始める予定ですが、調査区内に古墳とみられる高まりが1箇所ありましたので平板による墳丘の測量を行ないました。



古墳と見られる高まり。

[TOPに戻る](#)

---

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

5月5日更新

## 萱町遺跡

### 神戸八丁目

個人住宅建築に伴う発掘調査です。調査地は南東に向かって緩やかに傾斜する地形に位置していたとみられ、南に向かって厚くなる黒色土の堆積が見られます。黒色土の下層は自然堆積のもの、上層は古墳時代～平安時代の遺物を含んでいて、整地された層であることが分かります。遺構は、方形の竪穴住居状の土坑など土坑多数、ピット多数です。出土遺物は主に平安時代前期のもので、土師器が多いのが特徴的です。内面黒色土器や1点ですが緑釉陶器の段皿も出土しました。付近に有力者の住居もあったようです。また、フイゴの羽口やスラグが出土していることから、鍛冶も行なわれていたようです。



調査区全景(中央が竪穴住居状の土坑)。



平安時代の土器を含む土坑。

## 国分遺跡 (伊勢国分寺跡32次)

### 国分町

こちらも、個人住宅の建築に伴う発掘調査です。伊勢国分尼寺の推定地の中心部であるため、尼寺に関連する遺構の発見が期待されました。現在までに南北方向の溝のほか土坑・掘立柱建物の柱穴多数が見つかっています。しかし、ほとんどが中世以降のものともみられ、直接に国分尼寺に結びつく遺構は今のところ見つかりません。新採の嘱託職員の研修もかねて行なっているため、先輩の厳しい指導の声が飛んでいます。



調査風景



鉄片・焼土や炭を含む土坑

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)